# 芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

**海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。**
**記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。**
**「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。**

| 留学者情報 | | | |
|---|---|---|---|
| • 学籍番号 | AH20063 | | |
| • 氏名 | 新田菜美 | | |
| • 学部 | 理工学研究科 | | |
| • 学科(コース等) | 社会基盤学専攻 | | |
| • 学年(渡航開始時) | 修士1年 | | |
| • ウェブ等への体験談掲載への同意 | ☑ 氏名も掲載してよい | ☐ 学部・学科まで掲載してよい | ☐ 完全匿名での掲載を希望 |

| 留学先情報 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| • 渡航型/オンライン型 | ☑ 渡航型 | ☐ オンライン型 | | |
| • プログラムタイプ | ☐ 授業履修型 | ☑ 研究室配属型 | | |
| • 国・地域名 | ニュージーランド | | | |
| • 都市名 | クライストチャーチ | | | |
| • 留学先大学名 | カンタベリー大学 | | | |
| • 留学期間 | ☐ 3ヶ月未満 | ☐ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） | ☑ 半年～1年（2セメスター程度） | |
| • プログラム期間 | プログラム開始時期（2021年9月上旬等） | 2024年4月上旬 | プログラム終了時期（2021年9月上旬等） | 2025年3月上旬 |
| • 留学時期（主に留学をしていた時期にチェックをお願いします） | ☐ 1年前期 | ☑ 修士1年前期 | | |
| | ☐ 1年後期 | ☑ 修士1年後期 | | |
| | ☐ 2年前期 | ☐ 修士2年前期 | | |
| | ☐ 2年後期 | ☐ 修士2年後期 | | |
| | ☐ 3年前期 | ☐ 博士以上 | | |
| | ☐ 3年後期 | | | |
| | ☐ 4年前期 | | | |
| | ☐ 4年後期 | | | |
| • 上記協定校を志願した理由を教えてください。 | 学部時代に研究していた液状化についてさらに深く学びたいと考え、留学先として選んだ。特に、ニュージーランドでは2010～2011年に大地震が発生し、大規模な液状化被害が報告されており、日本と比較研究を行うことができる点に魅力を感じた。また、NZの中でも工学分野に強い大学であることも決め手の一つだった。 | | | |
| • （研究室配属型のみご回答ください）受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。（SIT指導教員の紹介等） | ニュージーランドで液状化の研究をしている教授を自分で探し、メールで連絡を取った。 | | | |

| 留学中の学籍について | | |
|---|---|---|
| • 休学の有無 | ☐ 休学をした | ☑ 休学しなかった |
| • 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。（留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取り終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等） | 大学院の授業はオンラインで受講可能なものを受講したため。また、研究室のゼミもオンラインで参加した。 | |

## 留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

まず、液状化のメカニズムについて、授業を受講したり、論文を読んだりして、英語で基礎から学んだ。その過程で、日本とは異なる地盤調査手法や対策工法についても新たに知ることができた。それらの内容をもとに、ニュージーランドで用いられている液状化評価手法を用いて液状化の評価を行った。最終的に、自身の研究と結びつけ、異なる地盤調査手法の比較や両国の地震被害の比較を行った。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。
（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名① | Introduction to Geotechnical Earthquake Engineering (ENCN454) | 単位数（現地単位数） | なし |
| 科目概要 | 地震発生地域における、構造物の設計・評価のための基礎を学ぶ科目。実際の地震被害事例を基に、地盤の地震応答、擁壁、基礎、土と建物の相互作用、斜面の安定性評価などを扱う。演習や計算実習では、実務で用いられる計算ツールを活用する。 | | |
| 科目名② | Advanced Geotechnical Earthquake Engineering (ENEQ620-24X) | 単位数（現地単位数） | なし |
| 科目概要 | 地盤の応力ひずみ特性を基に、地震時の挙動を理解し、液状化の特性や評価手法を詳しく学ぶ。浅層・深層基礎、橋梁、埋設管、埋立地への影響を工学的に評価し、地震時の設計に焦点を当てる。2010-11年クライストチャーチ地震や2016年カイコウラ地震の事例、実験・現場データ、2021年改訂のNZ液状化評価ガイドラインを活用する。 | | |
| 科目名③ | | 単位数（現地単位数） | |
| 科目概要 | | | |
| 科目名④ | | 単位数（現地単位数） | |
| 科目概要 | | | |
| 科目名⑤ | | 単位数（現地単位数） | |
| 科目概要 | | | |
| 科目名⑥ | | 単位数（現地単位数） | |
| 科目概要 | | | |

| 留学先での学習・研究以外の交流活動 | |
|---|---|
| • 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。 | セメスターの途中から授業に参加したため、すぐに友達を見つけるのは難しかったが、まずは色んな人に話しかけてみることが大切だと感じました。また、部活に入るとネイティブの友達がより作りやすいと思います。 |

| 自由記述欄 | |
|---|---|
| • 留学で感じたこと等、自由に記載してください。<br>（当初の留学計画を達成でいたか、新た発見はあったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。） | 自身の研究である液状化の知識を深めたい、そして長期の留学を経験してみたいという思いから留学に挑戦した。しかし、留学当初は授業の理解や専門用語を用いたディスカッションに非常に苦労した。そこで、授業の予習・復習を徹底し、論文を読み込むことで、専門用語を適切に説明する力を身につけ、徐々に表現力を高めることができた。また、研究以外でも部活動などを通じて現地の人と積極的に交流を重ねたことで、専門知識を深めるだけでなく、異文化環境への適応力や主体的に行動する力、異なる価値観を持つ人々と協働する力も養うことができた。 |

| 留学手続き時に苦労した点 | |
|---|---|
| • 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など） | 現地の指導教員への連絡は、返信が遅くなることがあるため、できるだけ早めにしておくといいと思います。 |
| • ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）<br>（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。） | 研究留学で現地で授業を履修しない場合、student visaではない可能性もあるため、ビザの種類と自身の留学条件を照らし合わせる必要があります。また、ビザ申請時に必要な書類は、準備できるものから早めに用意しておくといいと思います。 |
| • その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。 | 基本的には自分で留学手続きを進めることになるが、調べてもわからないことがあれば、国際部の方に相談してみてください。すぐに対応してくださり、的確なアドバイスがもらえるはずです！ |

| 滞在先の宿泊施設などの情報 （渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。） | |
|---|---|
| • 宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等） | ホームステイ（1ヶ月）、協定校の寮（8ヶ月）、一般のフラット（2ヶ月） |
| • 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等） | 現地の指導教員に紹介してもらった、自分で探した |
| • 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？ | 現地の指導教員に車で送迎していただいた |
| • 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。 | 自転車で10分（寮）、自転車で20分（ホームステイ・フラット） |
| • 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。 | 協定校の寮は他に比べると値段は少し高いが、かなり新しく、広くて綺麗な建物・部屋だった。学生との交流が多く、友達が作りやすい。 |

## 留学中の費用や奨学金等 （渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

### 初期費用

| 内訳 | 金額（円換算概算） | 概要 |
|---|---|---|
| 協定校へ支払った費用<br>（授業料、初期登録費用等あれば） | ¥0 | |
| 往復航空券代（往復） | ¥170,000 | |
| 海外旅行保険・危機管理費用<br>（全期間分） | ¥200,000 | イーコールズ |
| その他費用（ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等） | ¥35,000 | ビザ申請費 |
| 計 | ¥405,000 | |

### 1ヶ月あたり費用

| 内訳 | 月額金額 | 概要 |
|---|---|---|
| 宿泊費/月 | ¥90,000 | ホームステイ：約100,000円（食事込）、寮：約110,000円、フラット：約70,000円 |
| 食費/月 | ¥50,000 | 基本自炊、週1くらいで外食 |
| その他/月 | ¥20,000 | 携帯代、ジム使用料など |
| 計 | ¥160,000 | |

### 奨学金情報

| 奨学金名 | 月額金額 | 概要 |
|---|---|---|
| 芝浦工業大学海外留学奨学金 | ¥80,000 | |
| | | |
| 計 | ¥80,000 | |

## 写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

### 大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします

説明文

工学部のキャンパス

### 宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします

説明文

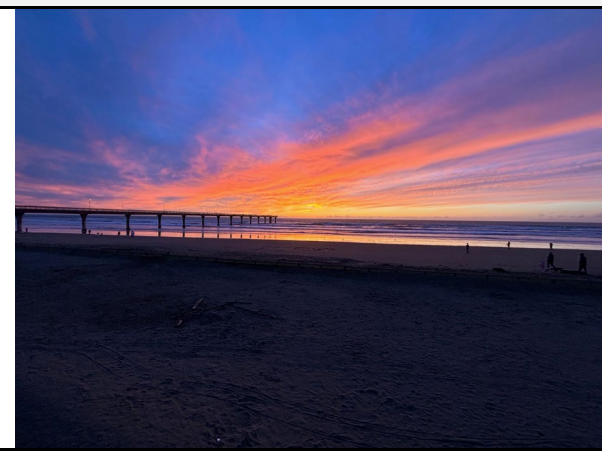
寮のリビング

### その他、任意の写真

説明文

大学のバスケチーム

### その他、任意の写真



説明文

冬に日の出を見に行った時の写真
（大学の休みには、様々な場所へ旅行に行っていました。）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。